

ダウンロード商品のご注文について

- 1.ダウンロード商品のご注文
- 薬事日報社オンラインショップ(https://yakuji-shop.jp/)または FAXでご注文下さい。
- 2.代金のお支払い
- [オンラインショップ注文]
- クレジットカード、銀行振込、郵便振替、コンビニ決済(番号端末式)、
- 銀行ATM・ネットバンキング決済(先払い)
- [FAX注文]
- 銀行振込、郵便振替
- ※オンラインショップ注文で銀行振込、郵便振替を選択された方、FAX注文の方には、
- 請求書および振替用紙をお送りします。
- 3.IDおよびパスワードの送付
- ご入金を確認後、ダウンロード用のIDとパスワード、商品ダウンロード専用ページのURLを
- メールで送付します。
- 4.ダウンロードサイトへアクセス
- 商品ダウンロード専用ページ(https://www.yakuji.jp/d/)にアクセスして、商品を選択、
- IDとパスワードを入力し、ダウンロードして下さい。

※注)ダウンロードデータはzip(圧縮)ファイルとなっておりますので、データの保存、解凍(展開)ができる環境でダウンロードしてください。

- 免責事項
- データのダウンロードや収録したプログラム、データを利用した結果で生じたいかなる損害に対しても、責任は負いません。
- 情報の二次使用について
- データの複製、複写、転載、販売、再販売、配布などは禁止しております。

●本製品の収録内容についての問い合わせ先

[morisawa@msync.co.jp] 株式会社エムシンク 地域医療研究班 森澤まで

【申込書】 FAX⇒03-3866-8495

【ダウンロード販売】DPC施設 疾患別患者動態 2019年版	定価 180,000 円 + 税	申込数	ID
--------------------------------	------------------	-----	----

ご住所	〒		
貴社名 貴施設名			
部署名			
お名前	TEL		
メールアドレス ※正確にご記入ください			

●ご記入いただいた個人情報は新刊案内等に利用させていただく場合がございます。

株式会社 薬事日報社

本社:東京都千代田区神田和泉町1-10-2
支社:大阪府大阪市中央区道修町2-1-10
ホームページ:https://www.yakuji.co.jp/

TEL:03-3862-2141 FAX:03-3866-8408
TEL:06-6203-4191 FAX:06-6233-3681
オンラインショップ:https://yakuji-shop.jp/

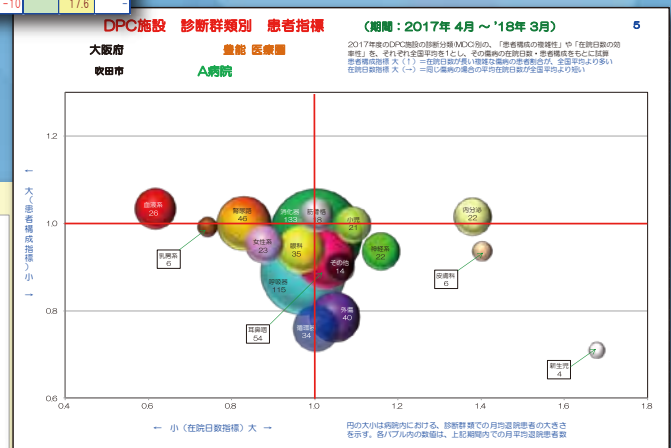
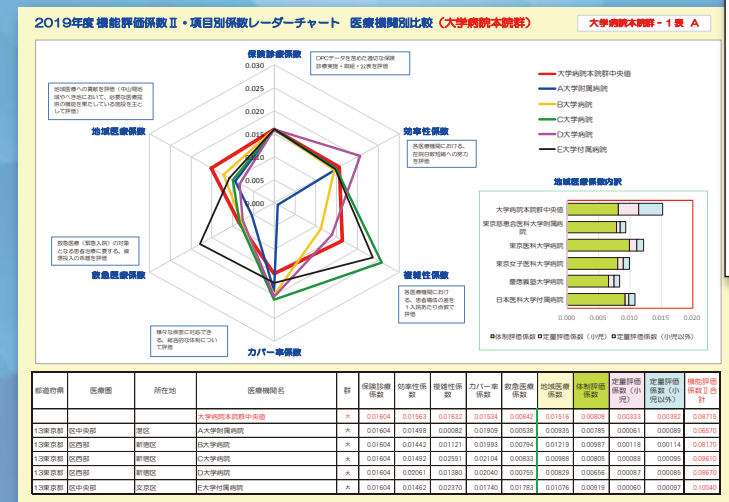
DPC 病院 データを 解析・可視化!

【ダウンロード販売】

DPC施設 疾患別患者動態

2019年版

各疾患別・手術あり・なし別 患者数及び平均在院日数の対前年比較		No	050030											
対象期間(2017年4月~'18年3月) 対 2016年4月~'17年3月)		疾患	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む)、再発性心筋梗塞											
各疾患とも年間退院患者数が9件以下はマスク(空白)表示		説明	退院患者数＝前年度よりも増加・●(○)は減少、在院日数＝前年度よりも増加・●(○)は増加											
05-循環器系疾患		作成・著作 Msync	手術あり				手術なし							
		施設数(大学病院・準大)及び 出来高算定病院(出)・含む	動態		年間退院患者数		平均在院日数		年間退院患者数		平均在院日数			
通番	都道府県	二次医療圏	所在地	施設名	病 院 群	2017年 4月~ 2018年 3月	2016年 4月~ 2017年 3月	対前 年比 増減	2017年 4月~ 2018年 3月	2016年 4月~ 2017年 3月	対前 年比 増減	2017年 4月~ 2018年 3月	2016年 4月~ 2017年 3月	対前 年比 増減
44	25愛知県	名古屋	名古屋市瑞穂区	A病院	大	93	62	31	19.8	16.7	-3.0	0	0	0
47	25愛知県	名古屋	名古屋市昭和区	B病院	大	19	22	-3	12.7	16.6	3.9	0	0	0
161	25愛知県	名古屋	名古屋市千種区	C医療センター	特	66	69	-3	16.4	20.9	4.5	0	0	0
162	25愛知県	名古屋	名古屋市中村区	D病院	特	124	128	-4	17.7	16.8	-0.9	15	0	15
163	25愛知県	名古屋	名古屋市昭和区	E病院	特	123	136	-13	16.0	14.4	-1.6	26	32	-6
170	25愛知県	名古屋	名古屋市中区	F病院	特	94	91	3	17.3	18.6	-1.3	0	10	-10



販売形態:データダウンロード方式
仕様:Excel
価格:180,000円(税別)
販売:(株)薬事日報社
制作・著作:(株)エムシンク

詳細は中面をご覧ください

03-疾患別/手術あり・なし別患者動態

各医療機関での疾患別の「年間患者退院数」および「平均在院日数」を表にしています。
医療圏や所在地での絞り込みができるので、地域内の医療機関がどの疾患の患者を多く診ているのか判ります。
医療機関ごとの特色(疾患別の強み・弱みなど)を知る上で、参考となります。

DPC施設 MDC分類別 年間退院患者数及び平均在院日数							作成・著作 Msync			
下記対象期間内での手術あり・なし別年間退院患者数及び平均在院日数							12002x			
対象期間		2017年4月～2018年3月末			年間退院患者数が 9件以下は空白	疾患名	子宮頸・体部の悪性腫瘍			
12-女性系疾患							DPC病院群(大学病院群～準備)及び出来高算定病院(出算)も含む		手術あり	
整理番号	都道府県	二次医療圏	所在地	施設名 (Msync-OHN)	D P C 病院群	年間退院患者数	平均在院日数	年間退院患者数	平均在院日数	
73	40福岡県	北九州	北九州市八幡西区	A病院	大	143	10.6	158	7.1	
213	40福岡県	北九州	北九州市八幡西区	B病院	特	177	7.9	155	5.6	
1486	40福岡県	北九州	北九州市戸畑区	C病院	標			11	16.2	
1496	40福岡県	北九州	北九州市小倉南区	D病院	標	42	14.6	38	11.6	
1498	40福岡県	北九州	北九州市小倉北区	E医療センター	標	123	11.5	131	14.8	
1501	40福岡県	北九州	北九州市小倉北区	F病院	標	44	7.3	24	15.8	
1504	40福岡県	北九州	北九州市小倉南区	G医療センター	標	86	10.5	157	9.7	

同じ医療圏内で、B病院が唯一、平均在院日数が一桁となっている。
このことから、B病院が医療スタッフの充実化や後方支援病院との連携による在院日数短縮に取り組んでいることが判る。

各病院とも、手術ありと手術なしの患者数がほぼ同じなのに対し、G医療センターは「手術あり」の件数が低い傾向にある、このことからその疾患に対する積極度や専門医の充実度など、病院の強みや弱みが見えてくる。

04-疾患別/手術あり・なし別患者動態 対前年度比較表 (2017年度と2016年度の比較)

疾患別患者動態を前年度と比較し、年間退院患者数と平均在院日数の増減を表にしています。
前年度と比較することで患者数の増減はもちろんのこと、平均在院日数の短縮が図られたかがわかり、その病院の取り組み状況がわかります。

各疾患別・手術あり・なし別 患者数及び平均在院日数の対前年比較						No	050030											
対象期間(2017年4月～18年3月 対 2016年4月～17年3月)						疾患	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞											
各疾患とも年間退院患者数が9件以下はマスク(空白)表示						説明	退院患者数＝青は前年度よりも増加・赤(－)は減少、在院日数＝青は前年度よりも短縮・赤(－)は増加											
05-循環器系疾患						作成・著作 Msync	手術あり						手術なし					
						病院群(大学病院～準備)及び出来高算定病院(出算)も含む	年間退院患者数			平均在院日数			年間退院患者数			平均在院日数		
通番	都道府県	二次医療圏	所在地	施設名	病院群		2017年4月～2018年3月	2016年4月～2017年3月	対前年比増減	2017年4月～2018年3月	2016年4月～2017年3月	対前年比増減	2017年4月～2018年3月	2016年4月～2017年3月	対前年比増減	2017年4月～2018年3月	2016年4月～2017年3月	対前年比増減
44	23愛知県	名古屋	名古屋市瑞穂区	A病院	大		93	62	31	19.8	16.7	-3.0	0	0	0			-
47	23愛知県	名古屋	名古屋市昭和区	B病院	大		19	22	-3	12.7	16.6	3.9	0	0	0			-
161	23愛知県	名古屋	名古屋市千種区	C医療センター	特		66	69	-3	16.4	20.9	4.5	0	0	0			-
162	23愛知県	名古屋	名古屋市中村区	D病院	特		124	128	-4	17.7	16.8	-0.9	15	0	15	15.3		-
163	23愛知県	名古屋	名古屋市昭和区	E病院	特		123	136	-13	16.0	14.4	-1.6	26	32	-6	12.9	12.9	-0.0
170	23愛知県	名古屋	名古屋市中区	F病院	特		94	91	3	17.3	18.8	1.5	0	10	-10		17.6	-

■対前年比増減は、わかりやすく色分けして表示

青色：年間退院患者数の増加、平均在院日数の短縮

赤色：年間退院患者数の減少、平均在院日数の延長

A 病院の退院患者数が大きく増加し、その他の病院は減少していることから、同地域内における急性心筋梗塞の患者が A 病院に流れていることが判る。

2019 年 6 月現在、一般病床を有する全国の病院(5,835 病院)に対し、DPC 対象病院(1,986 病院)の占有率は 34%であり、200 床以上の病院での施設数割合では 50%を超える病院が DPC 対象施設となっている。

一方、病床数でみると DPC 病院の占める割合は 56.8%と約 6 割を占め、また、急性期一般入院基本料等に該当する病床での割合では 80%を超えているとの報告もある。

このことから「DPC 対象病院」の各種データを解析することにより、病院全体の動きや地域ごとの患者流動、各疾患ごとの現状を把握することができます。

本データは、厚労省より 2019 年 2 月に開示された最新の 2017 年度実績データ(平成 29 年度 DPC 導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について)を基に、各種情報を容易に把握できるよう解析・可視化したデータです。

データは Excel で収録しており、都道府県別・二次医療圏別・所在地別の選択・区分けなど自由に加工することが可能です。

今版は、疾患別患者動態表(年間退院患者数, 平均在院日数)に加え、新たに施設ごとの患者増減が見える「5年間推移グラフ」や施設の取り組み状況が把握できる「機能評価係数Ⅱレーダーチャート」、「地域医療指数グラフ」などの作成用ソフトを収録して内容を充実させました。

製薬メーカー、医薬品卸業などの営業に向けた情報ツールとして、また、病院、コンサルティング企業などの医療機関の動向・取組状況の把握・分析や近隣病院との比較などに活用いただけます。

収録内容

01-解説書

02-疾患別/手術あり・なし含む患者動態

03-疾患別/手術あり・なし別 患者動態

04-疾患別/手術あり・なし別 患者動態 対前年度比較表

05-疾患別/手術あり・なし別 処置1・2別 患者動態

06-疾患別 患者動態 5年間推移グラフ作成用ソフト

07-特大附録 MDC分類別バブルチャート作成用ソフト

08-A.機能評価係数Ⅱ グラフ作成用ソフト

08-B.地域医療指数グラフ作成用ソフト

05-疾患別/手術あり・なし別/手術処置1・2別 患者動態

疾患別/手術あり・なし別の表からさらに詳しく「手術ありの処置1・2別」および「手術なしの処置1・2別」の各医療機関の患者動態を表にしています。

- 処置1とは
- 血管塞栓術、体外ペースメーカー術、心臓カテーテル法による諸検査等、補完的な手術・処置や侵襲性の高い検査などを指す。
- 処置2とは
- 中心静脈注射、人工腎臓、放射線療法、化学療法など、生命維持的な治療やがんの集学的治療を指す。

処置2には使用される医薬品名（一般名）を記載。
※「手術 処置2で使用される医薬品名一覧(2017年度版)」を別途収録しており、一般名から商品名・販売元を検索可能

処置1には、詳細な処置例を掲載。

疾患別・手術-処置1・2別 患者動態表					MDC-06 消化器疾患・ 肝臓・胆道・膵臓疾患					制作・著作 Msync					対象 期間					2017年4月1日～2018年3月末 件数・患者数（上記期間内での）																
診断群分類					直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍																															
MDCコード					060040					※注意＝ 件数（年間退院患者数）が 9件以下はマスク(空白)表示																										
手術あり／なし					手術あり					手術なし																										
処置あり／なし					処置1あり		処置1なし		処置2あり		処置2なし		処置1あり		処置1なし		処置2あり		処置2なし																	
医薬品の適応疾患での処方件数は、「処置2あり」の件数を参照のこと					全・分層植皮術、皮弁作成術（移動術、切断術、遷延皮弁術）、動脈・筋弁術、遊離皮弁術、複合組織移植術、自家遊離複合組織移植術、組織拡張器による再建手術、抗悪性腫瘍剤動脈・静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置、腸瘻（虫垂瘻造設術）、腹腔鏡下腸瘻（虫垂瘻造設術）、人工肛門造設術、経皮的腎瘻造設術、残存尿管導出術、尿管膀胱吻合術、他				中心静脈注射、人工腎臓、人工呼吸、化学療法あり且つ放射線療法あり、化学療法なし且つ放射線療法あり、フルオロウラシル＋レボホリナートカルシウム＋イリノテカン塩酸塩水和物あり、オキサリプラチン、ペバシマブ、パニツムマブ、セツキシマブ、レゴラフェニブ水和物、ニボルマブ、ペムブロリスマム、アベルマブ、ラムシルマブ、トリフルリジン／チピラシル塩酸塩、								中心静脈注射、人工腎臓、人工呼吸、化学療法あり且つ放射線療法あり、化学療法なし且つ放射線療法あり、フルオロウラシル＋レボホリナートカルシウム＋イリノテカン塩酸塩水和物あり、オキサリプラチン、ペバシマブ、パニツムマブ、セツキシマブ、レゴラフェニブ水和物、ニボルマブ、ペムブロリスマム、アベルマブ、ラムシルマブ、トリフルリジン／チピラシル塩酸塩、																			
告示番号	都道府県	医療圏	所在地	施設名（Msync-OHN）	診療科目	算定病種	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数	件数	平均在院日数
10001	01北海道	札幌	札幌市中央区	A大学病院	大	890	66	14.6	101	17.7	70	16.9	97	16.2			287	7.6	241	7.3	46	9.1														
10002	01北海道	札幌	札幌市北区	B大学病院	大	869	34	24.2	45	19.8	10	19.2	69	22.1			36	14.0	23	15.2	13	11.8														
10003	01北海道	上川中部	旭川市	C大学病院	大	571	43	20.1	72	16.0	35	21.7	80	15.8			201	4.7	187	4.5	14	7.4														
20001	01北海道	札幌	札幌市手稲区	D病院	特	670	15	14.9	94	10.9	20	18.9	89	9.8			43	10.0	24	9.4	19	10.8														
20002	01北海道	上川中部	旭川市	E病院	特	480	14	15.5	26	19.5	13	16.2	27	19.1			96	6.0	86	5.4	10	11.4														
20003	01北海道	十勝	帯広市	F病院	特	678	20	22.7	34	11.6	16	21.7	38	13.2			43	11.6	26	8.4	17	16.5														
20004	01北海道	札幌	札幌市西区	G医療センター	特	326			28	21.7	27	21.9	10	10.5			123	3.4	112	3.4	11	3.5														
30001	01北海道	札幌	札幌市中央区	H病院	標	243	42	21.6	80	12.9	31	18.7	91	14.9			226	6.7	176	6.2	50	8.4														
30002	01北海道	札幌	札幌市中央区	I病院	標	301			45	14.5	13	27.9	39	14.1			14	8.8																		
30003	01北海道	札幌	札幌市中央区	J病院	標	266	12	13.8	38	22.8			49	20.9			200	3.7	178	3.5	22	5.0														

■ 医薬品・医療機器メーカーにおいて施設別・疾患別の症例数、処方件数の把握することで、適応症追加時の処方依頼や治験依頼先の選定に役立つ。

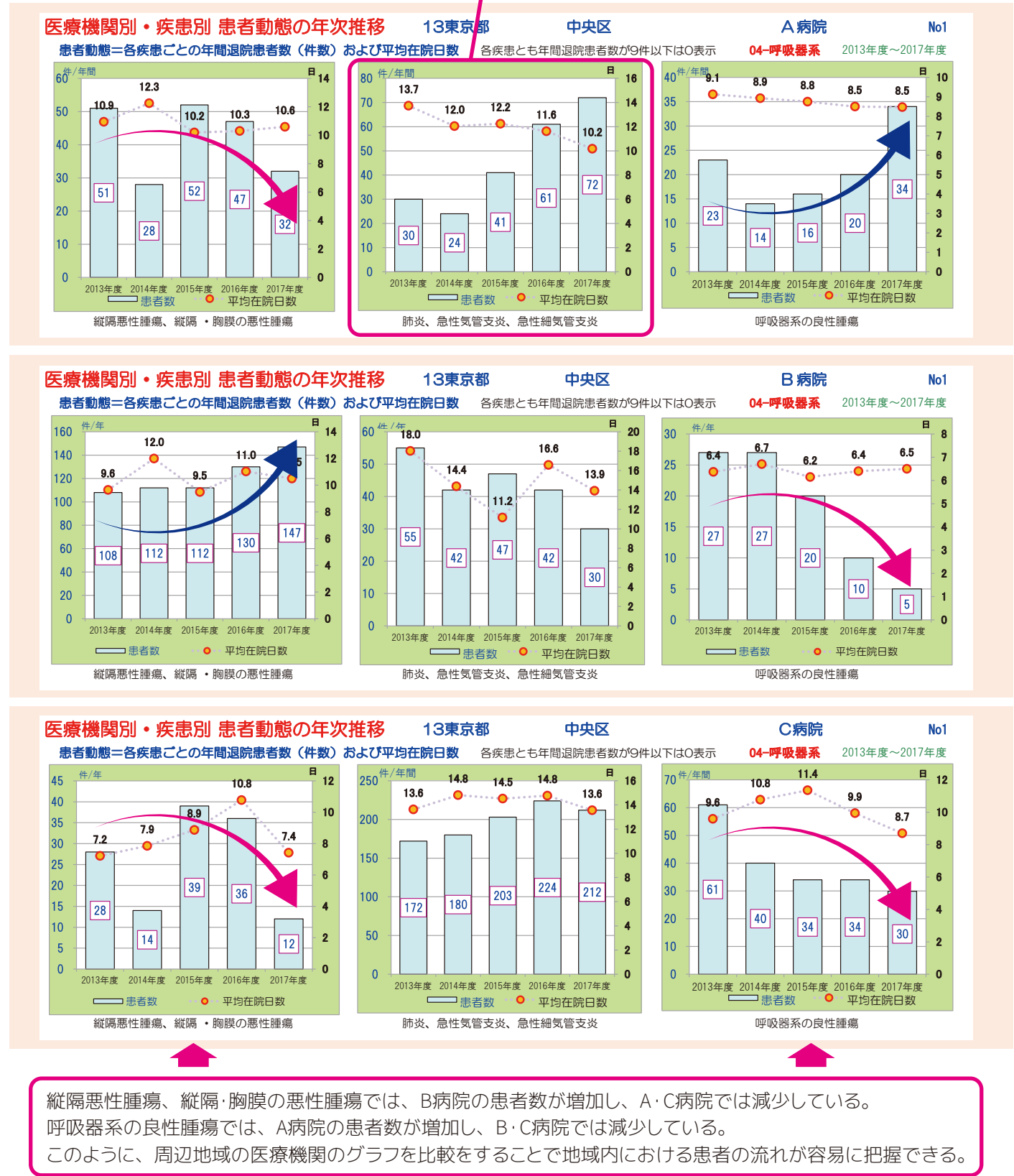
年間患者数と処置2で処方される医薬品の処方件数がわかる。
例)H病院では、年間に31+176=207例の患者に処置2の医薬品が処方されていることになる。

06-疾患別 患者動態5年間推移グラフ作成ソフト

医療機関ごとの各疾患（348疾患）の過去5年間の年間退院患者数（縦棒グラフ）および平均在院日数（折線グラフ）を作表できます。

疾患ごとの5年間の患者数増減をプロットすることで、医療機関としてどの疾患を積極的に集患しているのか、また周辺の医療機関のデータを作表して比較することで、疾患ごとの患者の流れが見えてきます。

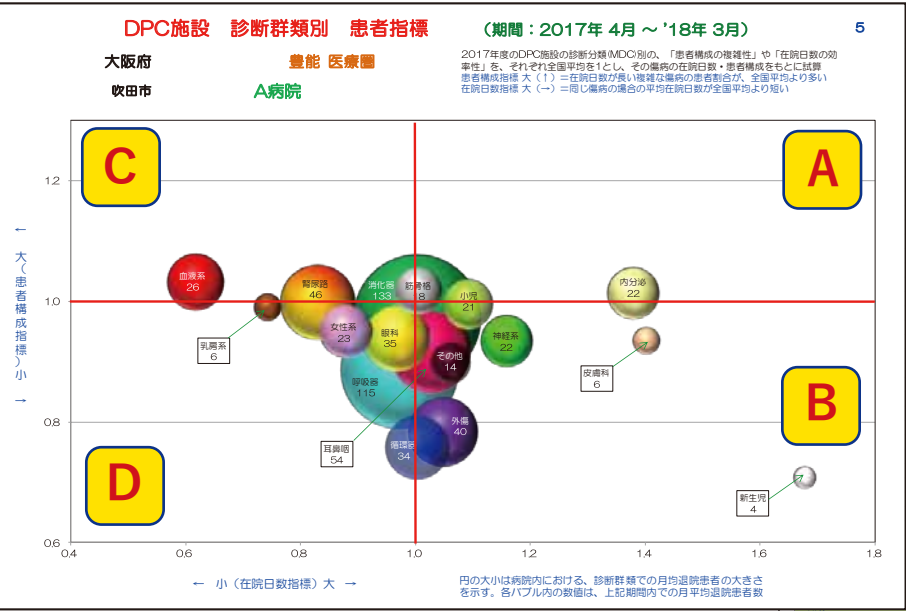
A病院では、肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎の平均在院日数を短縮し、患者数を伸ばしており、同疾患の強化に取り組んできたことが判る。



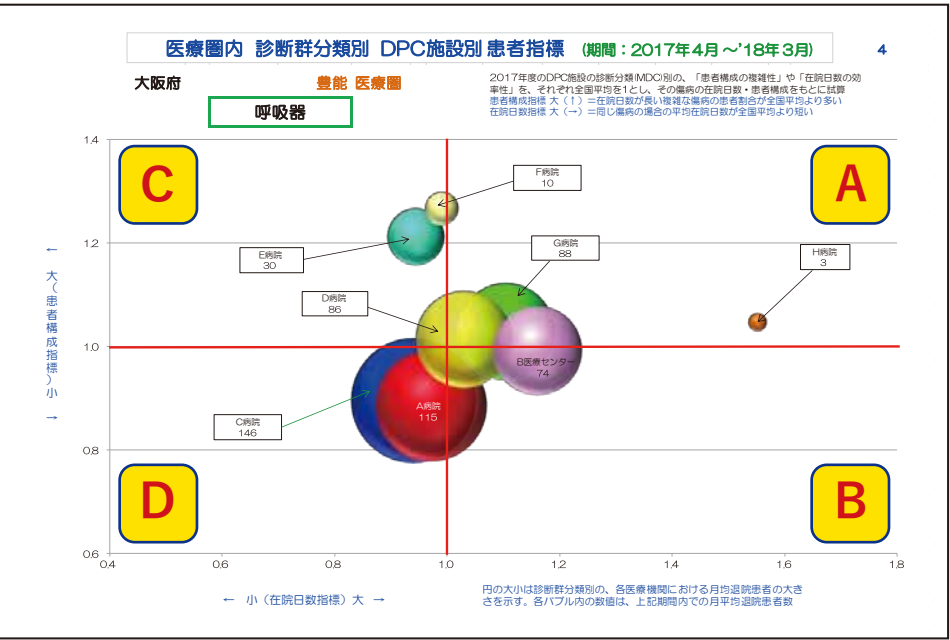
07-MDC分類別バブルチャート作成用ソフト

MDCとは、WHOが制定しているIDC-分類に基づく18の主要診断群。
その18主要診断群の医療機関ごとの患者構成を、全国平均値に合せた際の「年間退院患者数」「患者構成の指標」「在院日数の指標」を可視化できます。

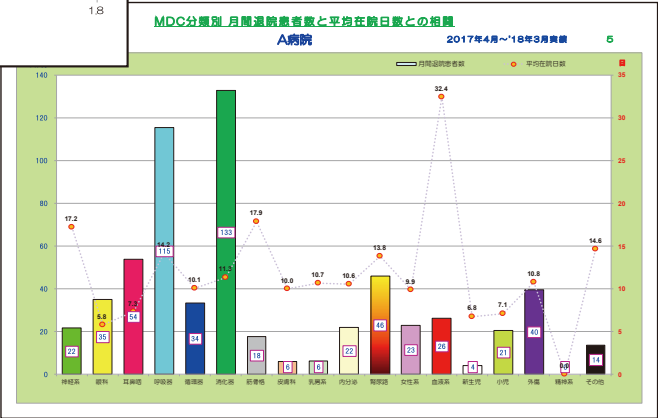
■病院の疾患ごとの実態がわかるので、課題等の分析に役立ちます。



- Aゾーン
重症度や複雑性の高い患者割合が全国平均より多く、平均在院日数が全国平均より短い
- Bゾーン
重症度や複雑性の高い患者割合が全国平均より少なく、平均在院日数が全国平均より短い
- Cゾーン
重症度や複雑性の高い患者割合が全国平均より多く、平均在院日数が全国平均より長い
- Dゾーン
重症度や複雑性の高い患者割合が全国平均より少なく、平均在院日数が全国平均より長い



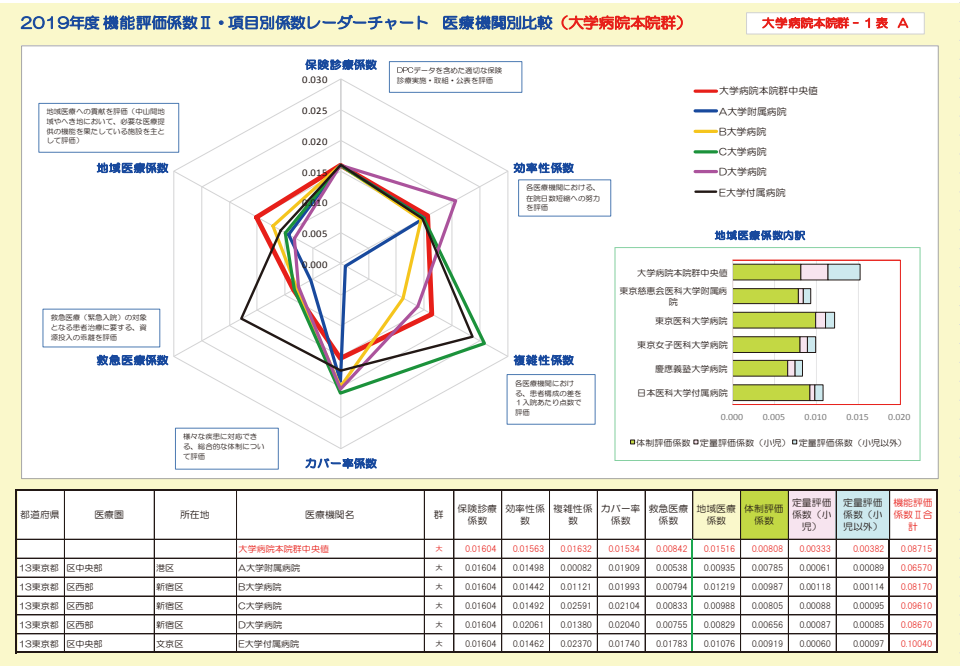
最大20施設を選択ソートしてシートに貼り付けるだけで、バブルチャートや相関グラフが簡単に出来上がり、病院の実態を把握することができます。



同じ医療圏内の施設を複数選択して疾患別の施設ごとの指標を表したバブルチャート図も作成できます。疾患ごとの強みや弱みの把握・比較するのに便利です。

08-A.機能評価係数IIグラフ作成ソフト

DPC対象病院は、担うべき役割やインセンティブとして6つの項目で評価されている。その評価項目を各医療機関群別の平均値(中央値)と比較したレーダーチャート図を作成できます。



←大学病院群で作成したレーダーチャート
赤色の線で示した中央値や近隣の病院と比較することで、各病院の評価項目ごとの取り組み状況がわかる。

08-B.地域医療指数グラフ作成用ソフト



地域医療への貢献度を評価する指標である「地域医療指数」を可視化するグラフを医療機関群別に最大5施設を選択して作成できます。

←特定病院群で作成したグラフ
医療機関群の平均値や近隣病院と比較することで、病院の地域貢献の取り組み状況がわかる。

※本パンフレットに記載した内容見本は、実際に収録されたデータ、医療機関名とは異なる部分がございます。

まずは、“**無料サンプル**”をダウンロードして内容をご確認ください。

<https://yakuji-shop.jp/> または [薬事日報社 ショップ](#) [検索](#)

薬事日報社オンラインショップの商品ページからダウンロードできます。